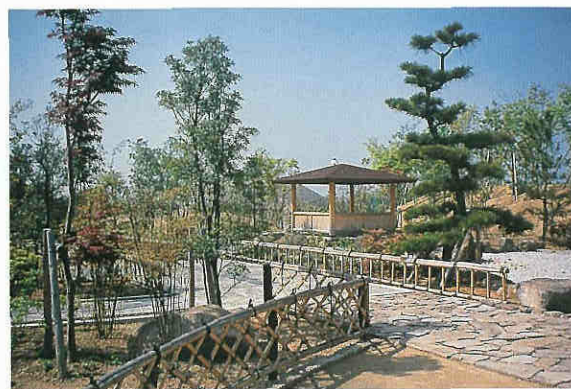




丘陵地の斜面を整備して水と緑の情景を演出



再整備時に設けられた緑の相談所



公園内に新しく整備された日本庭園

DATA・BOARD 23

- ①兵庫県姫路市西延末字手柄山
- ②面積：360,000㎡
- ③山陽電気鉄道本線手柄駅から徒歩約10分、国道2号線姫路バイパス中地ICから車で約5分
- ④姫路城、書写山円教寺、姫路セントラルパークほか
- ⑤温室植物園・水族館・平和資料館などの特別展、園芸愛好会などの展示会、園芸技術講習会など



23 てがらやま 手柄山中央公園



「手柄山中央公園」は、姫路市の中心部に位置する総合公園で多くの市民に利用されてきたが、園内の主要施設の多くが築後三十年を経過して老朽化が進んでいた。また、同一目的の施設が分散して配置されるなど、公園全体のバランス感に欠け、個性や魅力に課題のあるものとなっていた。

そのため、公園の再整備が行われることになり、市民からの要望に応えるように、都市緑化植物園として整備が進められた。

再整備にあたっては、緑と水の活用を基本に考え、メインストリート沿いには丘陵地である高低差を利用して水の流れをつくり、水と緑の大階段として訪れる人を楽しませる景観づくりを行った。また、小さな植物見本園を単独で設けることは行わず、大型のサンクガーデンや日本庭園を設けた。

都市緑化植物園としての特色を出すために、緑の相談所も開設されている。この施設は、都市の中で緑の情報発信地となることを目的に、各種展示会をはじめ、花と緑の講習会、園芸技術講習、緑の相談指導などを行っている。また、市民や企業への緑化支援、学校とタイアップした、緑化意識の普及を進めている。こうした事業を進める上で必要な、専門家の確保や養成にも努めている。

周辺には、水族館や遊園地、スポーツ施設なども隣接しており、緑豊かな散策地、休息施設として、市内をはじめ周辺からも多くの人が訪れている。